

2024年1月

- 5日 幹事長会 ※
- 6日 上野連合自治会役員会
- 7日 消防出初式  
豊中市長杯・豊中南ライオンズクラブ杯  
第44回豊中豊友少年軟式野球大会開会式
- 8日 豊中市成人式 はたちのつどい 臨席
- 9日 幹事長会 ※
- 13日 市民協働フォーラム
- 14日 新春上野フェスタ 2024
- 15日 会派会議
- 16日 豊中市立南桜塚小学校インクルーシブ教育 視察
- 17日 議会改革検討委員会・幹事長会 ※
- 19日 とよなか SDGs・公民学連携フォーラム 2024
- 23日 豊中子ども財団新年合同研修会・互礼会
- 25日 豊中支援学校視察  
交通インフラ調査特別委員会講演会 ※
- 27日 前向きサロン(市政報告会)
- 29日 都市計画審議会 ※

- 9日 幹事長会・議会改革検討委員会 ※
- 10日 前向きサロン(市政報告会)
- 11日 とよなかキッチンカーパーティー2024
- 12日 豊洲池売却に関する地域説明会
- 13日 交通インフラ調査特別委員会 ※
- 14日 豊中市中学生舞台芸術体験事業 見学
- 19日 幹事長会・議会運営委員会 ※
- 21日 予算内示会 ※
- 22日 地域共生センター・母子父子福祉センター内覧会
- 25日 上野連合自治会定例会
- 26日 幹事長会・議会運営委員会・3月定例会 本会議 ※

2024年3月

- 4日 3月定例会 代表質問(大阪維新の会・無所属議員団) ※
- 5日 3月定例会 代表質問 ※
- 6日 3月定例会 代表質問 ※
- 8日 建設環境常任委員会 傍聴 ※
- 11日 市民福祉常任委員会 傍聴 ※
- 12日 文教常任委員会(神原在籍) ※
- 14日 総務常任委員会 傍聴 ※
- 17日 豊中市春季少年野球大会開会式
- 21日 幹事長会・議会運営委員会・3月定例会 本会議 ※
- 25日 北大阪消防指令センター 視察
- 29日 政務活動費アプリ研修会 ※

収支報告

2024年1月～3月分

収入	
議員報酬	¥1,905,000
合計	¥1,905,000
支出	
所得税	¥161,130
議員団費	¥9,525
事務所費用へ	¥900,000
生活費	¥834,345
合計	¥1,905,000

(注1) イベント参加費・カンパなど  
(注2) 勉強会参加費など

神原事務所 2024年1月～3月分

収入	
前月繰越残高	¥2,232,222
神原宏一郎議員報酬より	¥900,000
その他(注1)	¥12,300
合計(1)	¥3,144,522
支出	
家屋費(イベント会場含)	¥226,286
光熱費	¥9,895
通信費	¥19,093
印刷費	¥39,193
備品費	¥0
消耗品費	¥0
交通費	¥0
人件費	¥429,450
その他(注2)	¥80,929
合計(2)	¥804,846
次月繰越(1)-(2)	¥2,339,676

インフォメーション

明日への架け橋  
(前向きサロン)

日時: 4月21日(日)  
午前: 10時～12時  
場所: 堀田会館2階第1料理室  
(阪急バス豊中高校前から徒歩5分)  
参加費: 無料  
主催: 前向きひろば

参加者皆さまと情報共有・意見交換  
出来ればと思っています。  
気軽にご参加ください!!

神原宏一郎事務所(前向きひろば)

〒560-0021 豊中市本町3-1-20 エルビル2階  
TEL&FAX: 6854-5664

平日(土・日祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

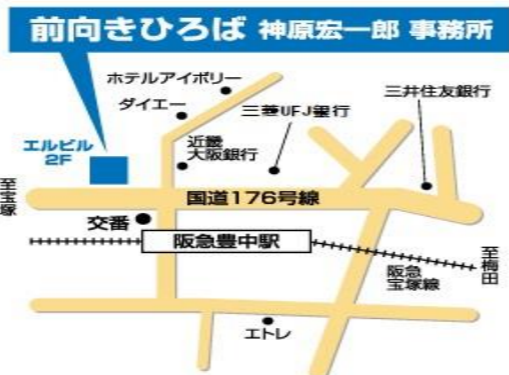
young\_spiritjp@yahoo.co.jp

http://positive-square.sakura.ne.jp/

※この通信物は、政務活動費を使用し発行しています。

発行元 大阪維新の会・無所属議員団(神原所属会派)

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1 ☎6858-2525(代表)



豊中の未来を描こう!!

発行 2024年 春号

VOL. 210

かんばらこういちろう

神原宏一郎の  
つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

新年度も  
全力で  
活動していきます

豊中市議会議員  
無所属



関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

3月定例会・代表質問と答弁

①子育てしやすさ NO.1～担い手確保が不可欠!!～

Q. 「子育ての社会化」とはどういう意味なのか?

A. 地域ごとの多様なニーズに対して、多様な主体の参画により地域が有する資源を最大限に活用しながら、子ども・子育て世帯を地域全体で支えるための取組みを促進していくことであると考えている。

Q. 今後、ますます人手不足、担い手不足が深刻化することが想定される中で、新たな人員の確保については、どのように考えているのか?

A. トータルでどれくらいの人員が必要となるかは、行政だけでは計ることはできない。行政内部の人員については、改革を通じてしっかりと人員を確保していく。

★意見・要望★

事業実施に際しては、財源だけでなく、人員の確保についても持続的可能性の視点を持って進めるべき!!

②横断歩道橋～利用調査に沿った修繕や撤去の判断を!!～

Q. 市が定めている横断歩道橋の撤去基準は? また、どのくらいの頻度で横断歩道橋の利用調査をしているのか?

A. 撤去基準は、12時間の利用者が概ね20人未満であること、通学路の指定が無いこと、100m以内に横断歩道が設置されていること、これら3つの条件全てに合致するものとしている。利用調査は5年ごと実施している。

★要望・意見★

利用者がほとんど無くても通学路の指定がされていることを理由に、多額の税金をかけて維持修繕することは疑問。老朽化による維持管理コストの課題やバリアフリーの観点、実際の利用状況を踏まえ、既存の横断歩道橋について、今後も維持修繕が必要なのか、場合によっては早期の撤去も含めて、再検証すべき!!

③自前での更なる電力創出～必要な電気は買うから創るへ!!～

Q. 新たな太陽電池『ペロブスカイト太陽電池』を活用した太陽光発電や路面太陽光発電を導入してはどうか?

A. 再生可能エネルギーについては、様々な技術開発がなされているところであり、市で導入するにあたっては、安全性や耐久性、コスト面を考慮しながら、引き続き、動向を注視していく。

★要望★

これからの時代、『必要な電気は購入するから創る、更に余れば蓄えるや売却する』に、より一層、意識も政策も転換していくべき!!

代表質問の全容はホームページをご覧ください。

http://positive-square.sakura.ne.jp/

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

メールアドレス: young\_spiritjp@yahoo.co.jp

# 3月定例会・代表質問と答弁

## ④建物の耐震化～倒壊を防ぐ取り組み～

Q. 現在、市内の住宅の耐震化率は？どのくらいの割合まで高めるといった目標値は？

A. 令和2年度時点の推計値では住宅の耐震化率は**91%**。

目標時期と目標値は、令和7年度に住宅の耐震化率**95%**を目標としている。

Q. 新たな耐震基準である『2000年基準』とは？また、2000年基準での耐震化率は？

A. 新耐震基準に加え、地盤に応じた基礎の設計、接合部の金具取付けなど新たな基準が定められている。2000年基準での耐震化率は把握していない。

### ★意見・要望★

今後、2000年基準での耐震化率について調査し、補助制度の創設などを検討して欲しい！！

## ⑤水道管の耐震化～断水を防ぐ取り組み～

Q. 現在の水道管の耐震適合率と今後の耐震化計画は？また、この水道管の耐震適合とは、どの程度の規模の震災に耐えるものと想定されているのか？

A. 水道管路全体の耐震適合率は、令和4年度末現在、**36.5%**、そのうち、重要な幹線管路である基幹管路の耐震適合率は、**72.4%**。今後については、令和9年度に水道管路全体では、**40.3%**、基幹管路では、**74.3%**を目標に定め、計画的に取り組んでいる。この水道管の耐震適合については、本市で想定している最大規模の地震、上町断層帯地震など震度7クラスの地震に耐えるものと評価している。

Q. 上町断層帯地震などが発生した場合、最大でどの程度の断水が発生すると想定されているのか？

A. 最も大きな被害が予想される上町断層帯地震について大阪府が算出した被害想定では、断水率**約85%**、断水人口**約33万7千人**と想定している。

### ★意見・要望★

耐震管の性能は、上町断層帯地震などにも耐えうると評価しているとのこと。水道管路の耐震化は、先の遠くなるような地道な事業ではあるが、**不断の取り組みで着実に進めて欲しい！！**

## ⑥災害廃棄物への備え～処理体制の確立～

Q. 将来的に発生が予想されている巨大地震で発生する災害廃棄物の最大想定量は？

また、一時的に保管する「仮置き場」の設置は、どのように想定しているのか？

A. 災害廃棄物量は最大**約163万トン**と想定している。

災害廃棄物の処理期間を3年と仮定した場合に必要とされる仮置き場の面積は**約57ヘクタール**と見込んでおり、候補地として市内の公園等を中心にリスト化し、部局間調整を行っている。

### ★意見・要望★

市内の遊休地はかなり減少している。また、公園は、一時的な避難場所や自衛隊等支援部隊の活動拠点など、様々な利用用途が想定されることから、仮置き場として確保できる場所は限られている。**危機管理課を中心に、全庁的な調整やシミュレーションに尽力して欲しい！！**

## ⑦避難所～誰もが安心して過ごせる場所の確立～

Q. 将来的に発生が予想されている巨大地震で、避難所への避難が必要となる市民の最大総定数は？一方、災害の危険性により避難された方や、災害により自宅に戻れなくなった方が一時的に滞在するための施設、いわゆる指定一般避難所の受け入れ可能人員数は？

A. 最大**約5万4千人**の避難者を想定。指定避難所の受け入れ可能人数は、**約8万6千人**。

Q. 福祉避難所への避難が想定される市民の数と、福祉避難所の受け入れ可能人員数は？さらに、福祉避難所でも受け入れが困難な方に対する市の認識と対応策は？

A. 福祉避難所の想定避難者数は**約1500人**、受け入れ可能人数は、現時点で**約1180人**。常時介護が必要な高齢者や福祉サービスが必要な障害者について、避難が必要な場合、福祉避難所での対応は難しく、施設や病院への緊急入所等が必要。緊急入所施設については、市内の施設のほか、災害の規模にもよるが、大災害時には、大阪府や自衛隊などの協力のもと、被災地外への広域避難の対応も必要と考えている。

Q. 現在、ペットを飼養されている市民の数は？また、震災の規模にもよるが、最大でどのくらいの市民及びペットが同行避難の必要が生じる可能性があるかと想定しているのか？

A. 犬の登録数は約1万7千頭、猫についてはペットフード協会の調査から算定し、約1万5千世帯が猫を飼っていると推察している。この数をもとに、**約4500世帯**がペット同行避難の必要が生じる可能性がある。

Q. 現在、同行避難の受け入れが可能な避難所はどれくらいあるのか？

A. 全ての避難所でペット同行避難を基本としているが、ペットと同じスペースで避難生活を送ることは、アレルギー対応など、他の避難者への配慮も必要なことから、**ペット専用のスペースを確保し、避難者同士で協力して頂くことが必要と、現状では考えている。**

Q. 避難所で感染症患者が出た場合、どのような対応をするのか？  
感染拡大を防ぐためのマニュアルなどは策定されているのか？

A. 感染症には、多くの種類や特徴があり、一律の対応で対処できるものではないが、今後、新型インフルエンザ等の感染症がまん延した際には、現行のマニュアルをベースに、その時の感染症対策を踏まえ、対応する。各地域では、感染症対策物品の購入備蓄や、飛沫感染防止のためのパーティションの設置訓練などを行っている。

### ★意見・要望★

不特定多数の人との共同生活となる避難所生活に、様々な理由や事情で不安や負い目を感じる方は少なくない。できる限り、避難所に関する議論や検討をする際や各避難所での訓練をする際には、当事者の参加や参画を進め、当事者の視点やニーズが反映されるよう努めて欲しい！！**誰もが避難所の利用を躊躇ったり、諦めたりすることが無いよう、引き続き尽力して欲しい！！**

その他にもこのような質問をしました

- ♪ 市政運営のスピード感
- ♪ 企業立地の促進
- ♪ 在宅医療体制の推進
- ♪ 介護人材の確保
- ♪ 病児保育の利便性向上
- ♪ 若者支援・ひきこもり対策
- ♪ 豊洲池の売却
- ♪ 旧島田小学校の跡地活用
- ♪ 上下水道料金の値上げ etc